**別紙28\_申請書入力システム支援ツールの処理手順\_産地交付金編**

# 産地交付金の入力方法

事例１「ほ場特定している場合」

事例２「数量払」

事例３「加工用米」

事例４「ほ場特定していない米粉用米と飼料用米と新市場開拓用米」

# 事前準備

１．使途設定マスタの作成

　マニュアル「使途設定マスタの作成手順」を参考に地域協議会ごとに作成。

　マスタの場所　申請書入力システム→マスタサンプル→記入用Excel→shito.xlsx

　エクセルshito.xlsxを修正し、上書き保存。このエクセルファイルの１行目を削除し、CSVファイル形式で、取込用CSVフォルダ内に保存。

　使途設定マスタの使途整理番号１～３０が、作物マスタの産地資金\_使途整理番号１～３０に対応している。



産地交付金の支払時期2回目を入力する場合は、  
使途設定マスタの該当使途の産地資金交付予定を２に設定し、

支払時期3回目を入力する場合は、産地資金交付予定を３に設定する。



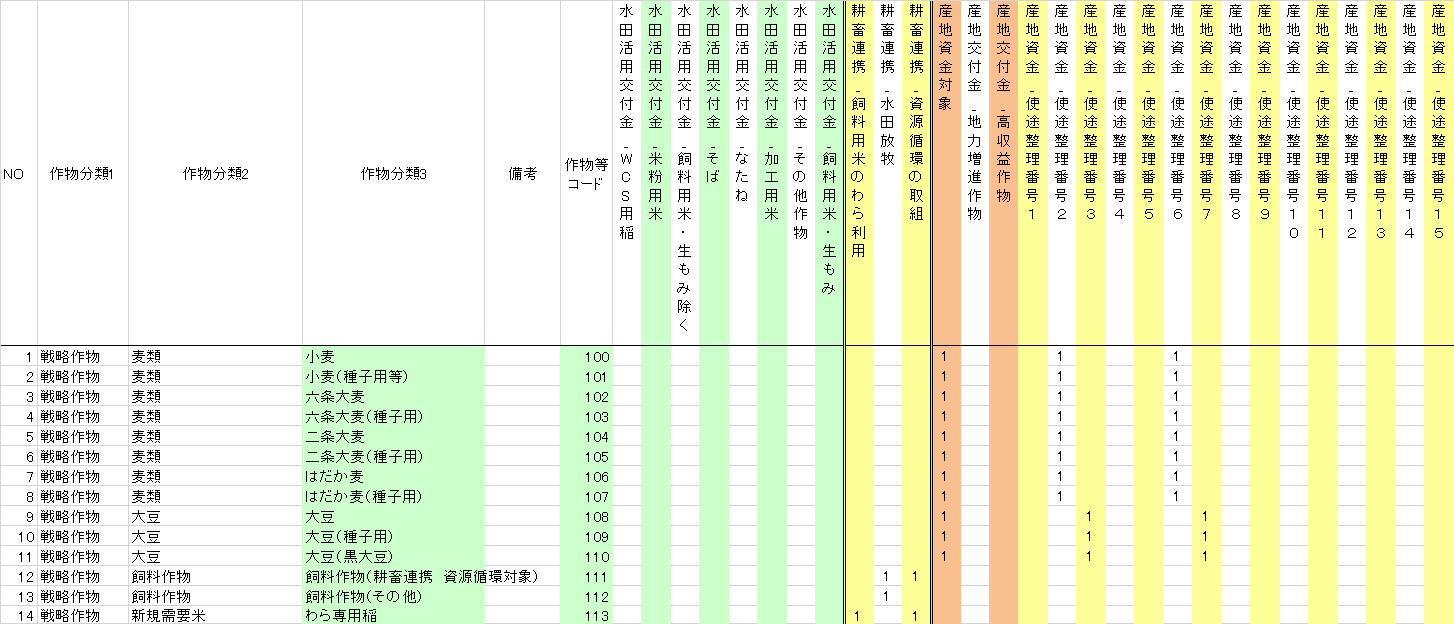
２．作物マスタの作成

　マニュアル「作物マスタ・協議会マスタの作成手順」を参考に地域協議会ごとに作成。

　マスタの場所　申請書入力システム→マスタサンプル→記入用Excel→ sakumotsu.xlsx

　エクセルsakumotsu.xlsx を修正し、上書き保存。このエクセルファイルの１行目を削除し、CSVファイル形式で、取込用CSVフォルダ内に保存。

　→作物マスタを修正した場合、支援ツールのシート：作物マスタも同様に修正する。



３．申請書入力システムで初期設定

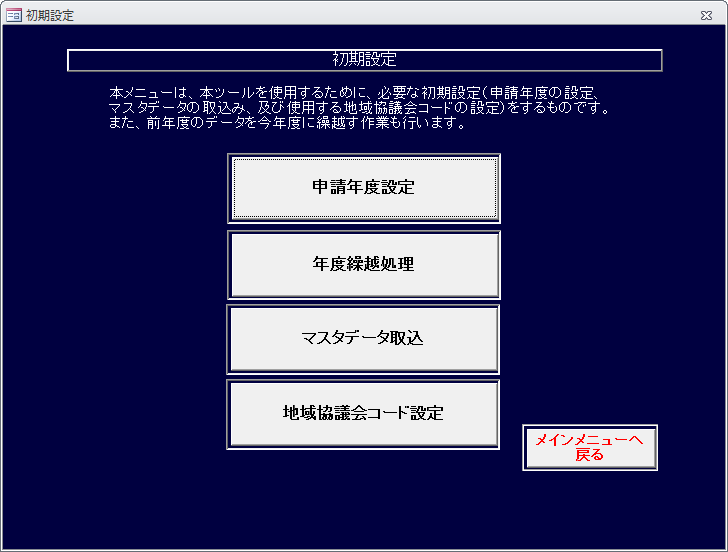
　・申請年度設定

　・マスタデータ取込（地域協議会マスタ、使途設定マスタ、作物マスタ）

・地域協議会コード設定

各マスタ取込

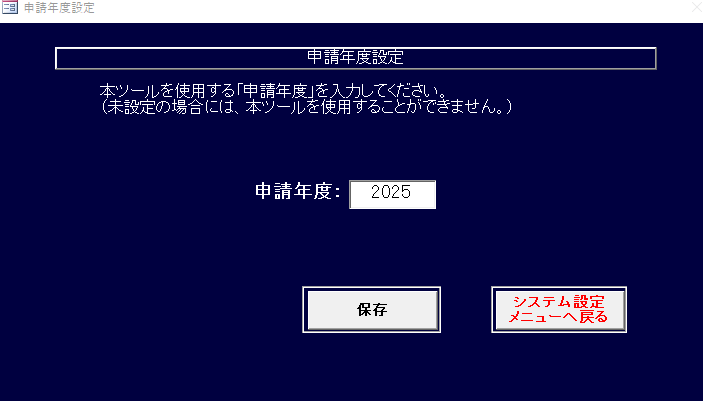
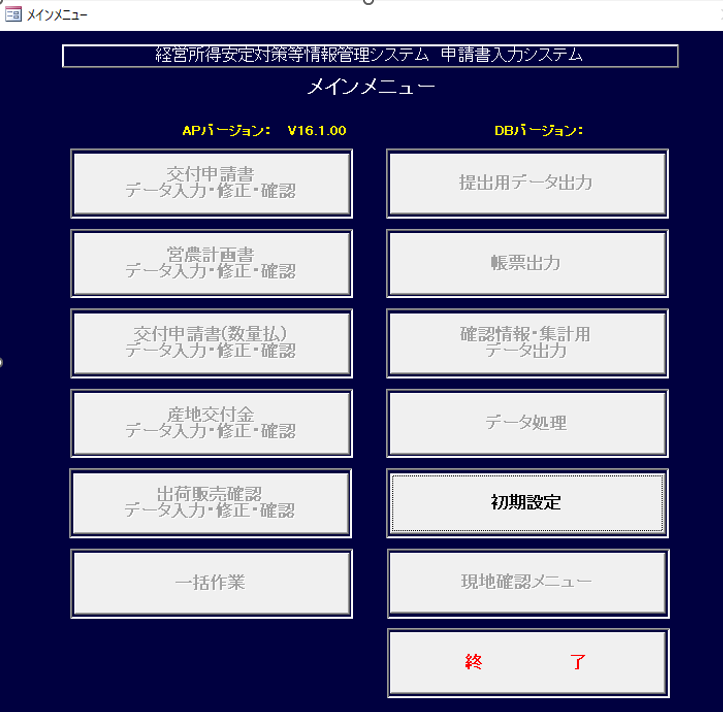
②



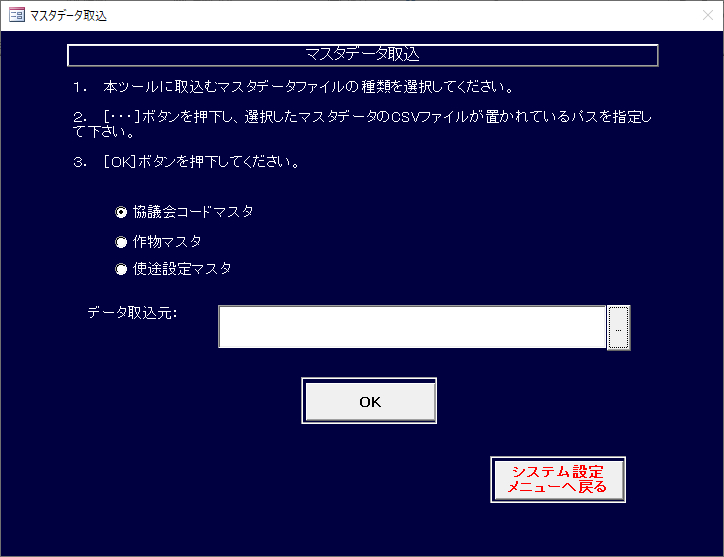
①

②

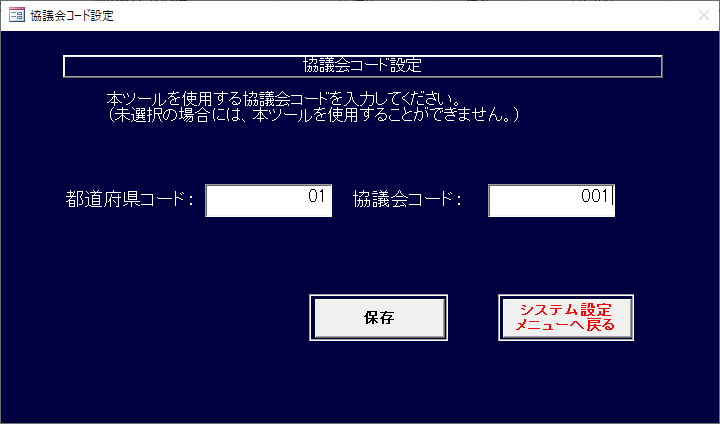
③



①



③



４．支援ツールの入力

以下のシートに様式第１号、様式第２号の内容を入力

SINSEI\_交付申請書※

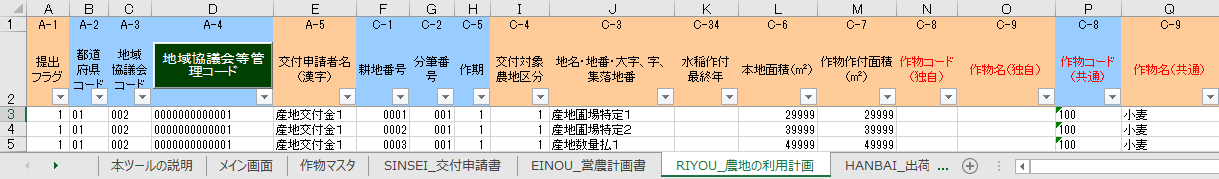
EINOU\_営農計画書※

RIYOU\_農地の利用計画

※交付金算定システムから出力される交付申請書CSV（確認用）を支援ツールに取り込むと、住所、氏名等が自動登録可能。

参考：申請書入力システムマニュアル ３．２．７　交付申請書類の一括入力作業（入力支援ツールの利用）⑤CSVファイル取込

　※新規需要米等の生産がある申請者は、シートEINOU\_営農計画書で新規需要米等の生産予定面積を入力してください（入力しないと水田活用交付金の交付対象面積が計算できません）。



RIYOU\_農地の利用計画



SINSEI\_交付申請書



EINOU\_営農計画書

# 事例１「ほ場特定している場合」

５．支援ツールの入力・ファイル出力

○対象入力シート

①JOSEI\_産\_助成対象

②HAIKATSU\_産\_配分枠活用方針

※ほ場特定している場合は、

JOMENKIN\_産\_助成対象面積金額

JOMENKINKEI\_産\_　助成対象面積金額計

は入力不要

○データ出力シート

シート「メイン画面」で、INPUT１、２、４、１８、２１ファイルを出力。

参考：マニュアル別紙１８　申請書入力システム支援ツールによる産地交付金登録の手引き

＜支援ツール＞

○シート：JOSEI\_産\_助成対象

産地交付金の対象となるほ場データを入力する。

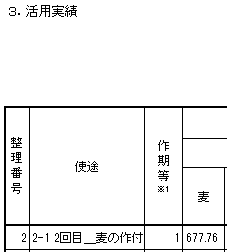
　申請者ごとに、エクセル１行につき、１使途・１枝番コード・１ほ場で入力。

１つのほ場が複数の使途の対象となっている場合、そのほ場は複数行、入力する。

F-1～F-9  
　シート：RIYOU\_農地の利用計画に入力した内容と同じ内容を入力  
（F-9が未入力だとエラー）。

F-10対象面積  
　産地交付金の対象面積が、F-9作物作付面積と異なる場合は入力。同じ場合は入力不要。  
F-11作物コード  
　シート：RIYOU\_農地の利用計画に入力した内容と同じ内容を入力（C-8作物コード（共通）と同じ内容）  
F-12作物名  
　任意入力（未入力も可）。シート：メイン画面の「作物名の取込」ボタンを押すと、シート：作物マスタの作物名称が取り込まれる。

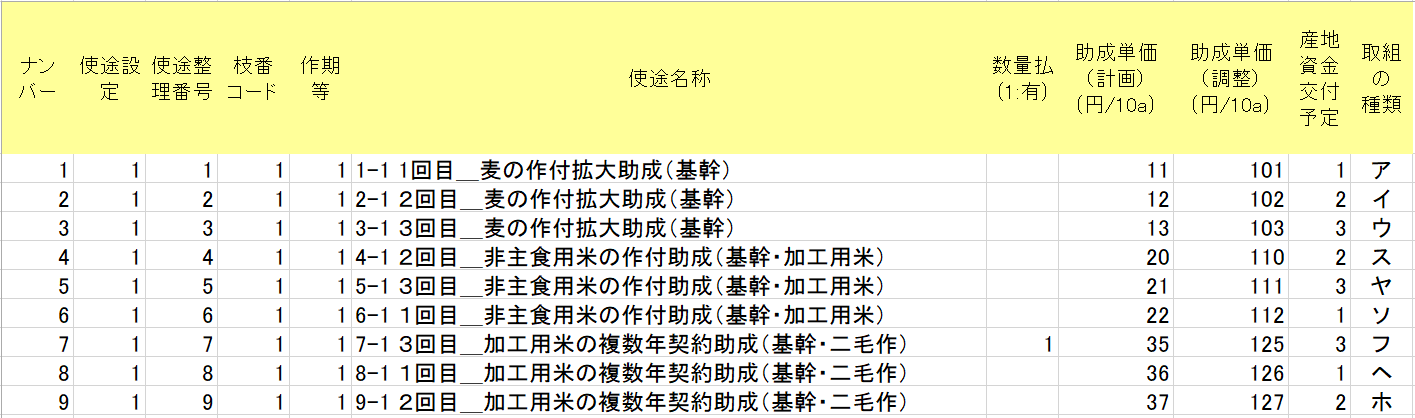
F-14作物集計区分  
 様式第11－10号別紙の作物欄に対応している。



様式第11－10号別紙

F-15使途整理番号  
 使途設定マスタの使途整理番号に対応している。  
F-16枝番コード  
 使途設定マスタの枝番コードに対応している。

使途設定マスタ

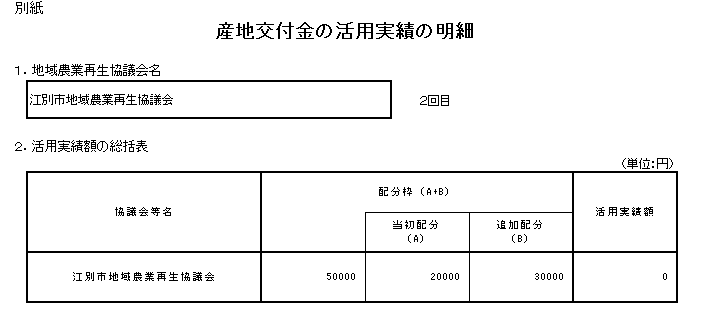


○シートHAIKATSU\_産\_配分枠活用方針

１地域協議会で１行入力。

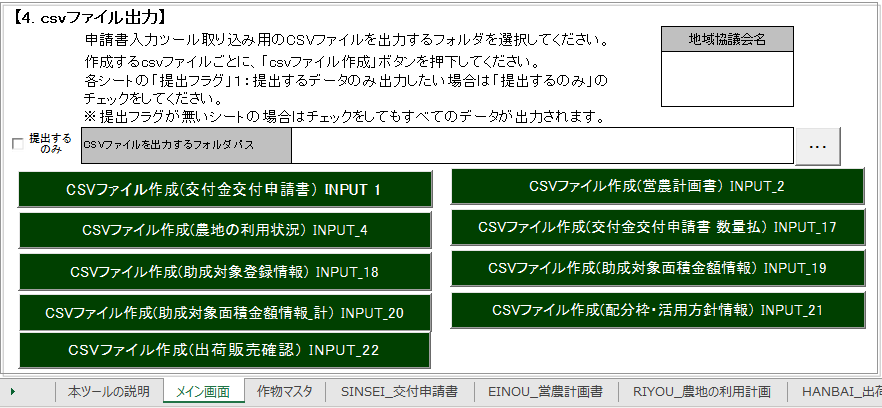
F-219～220　該当のコードを入力。

F-226-1～F-300　様式第11－10号別紙　２．活用実績額の総括表に印字される内容を入力。



様式第11－10号（別紙）

６．シート「メイン画面」で、  
INPUT１、２、４、１８、２１ファイルを出力。



＜申請書入力システム＞  
データ取込・画面確認・帳票出力・データ出力

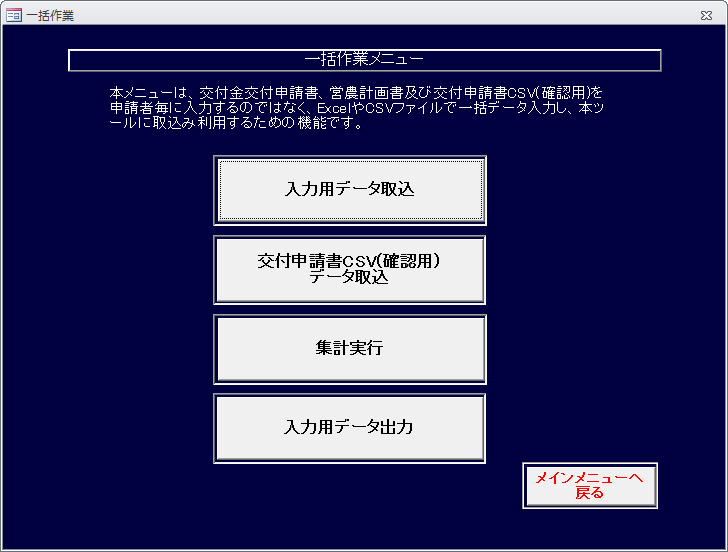
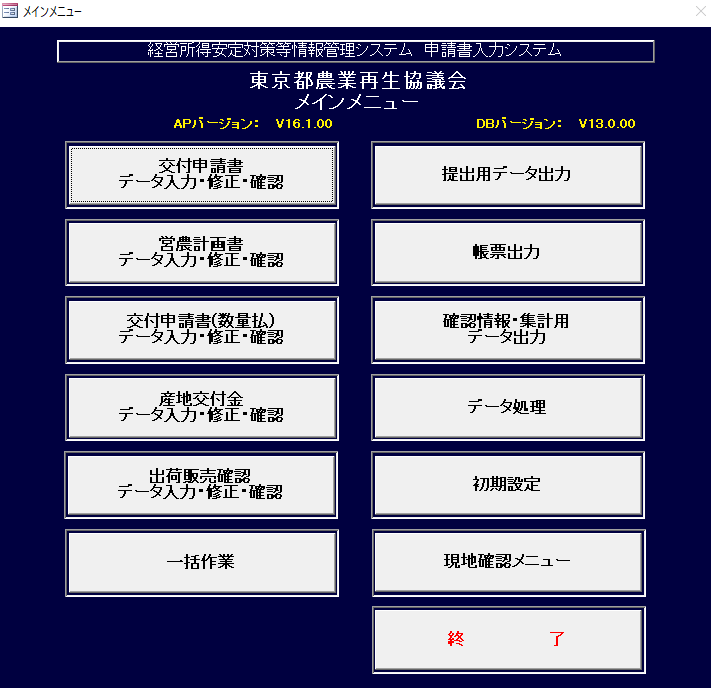
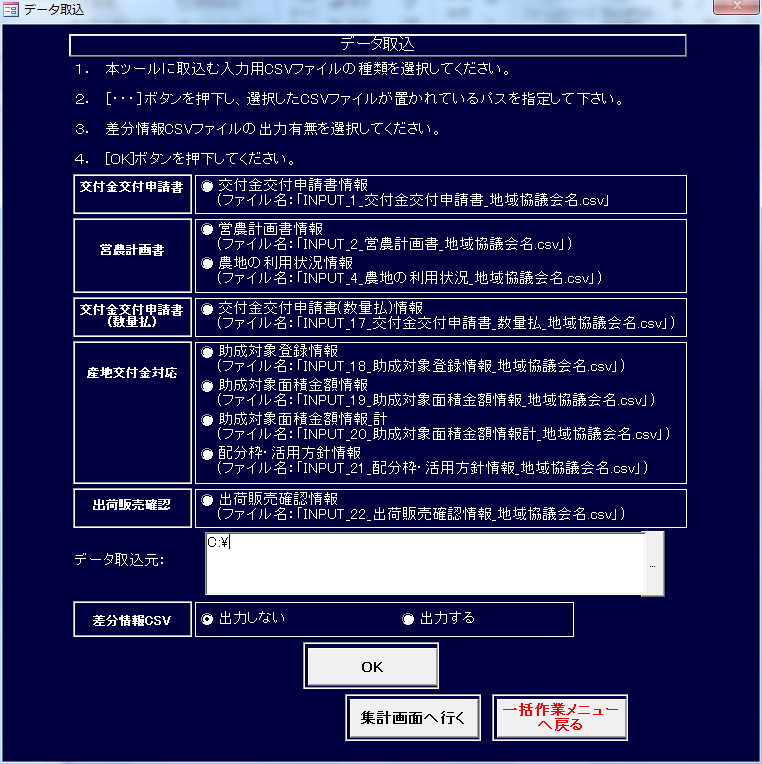
７．申請書入力システムでINPUT１、２、４、１８、２１を取り込み、集計実行

参考：マニュアル ３．２．５　産地交付金データの入力・修正・検索

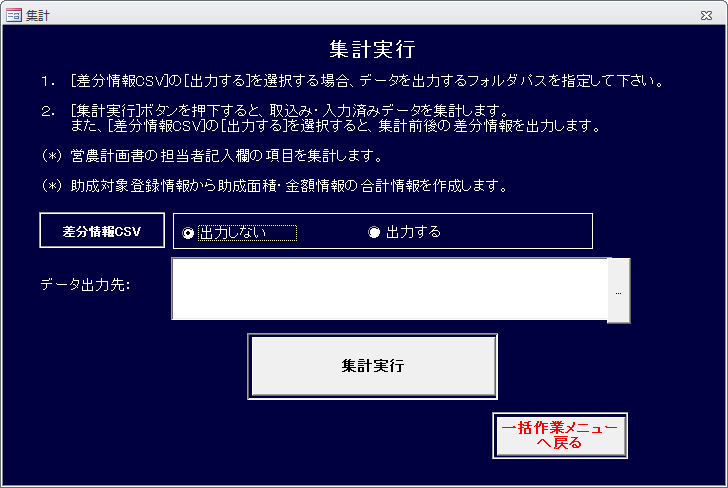
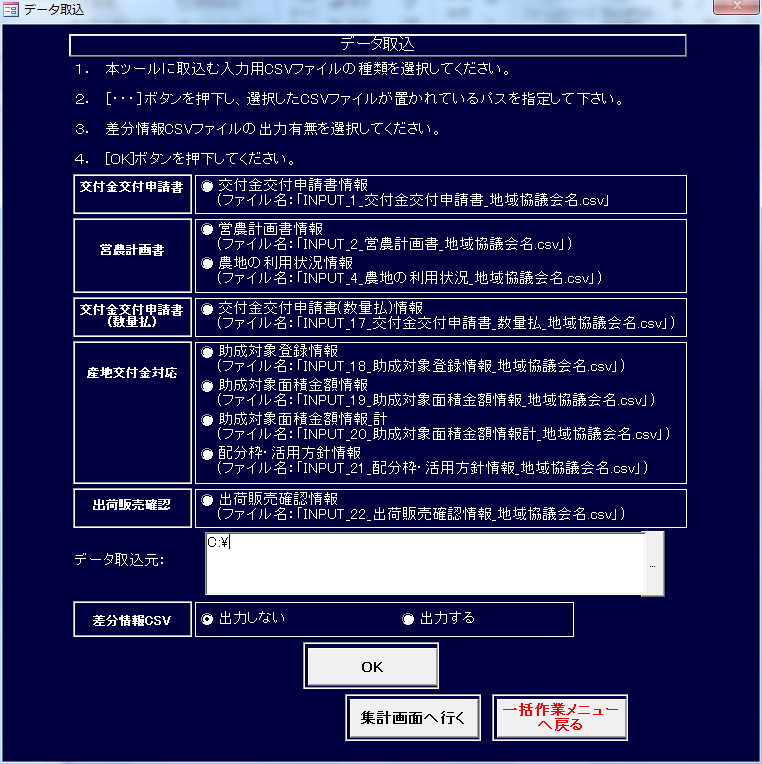
　　　：マニュアル別紙１３　産地交付金の実面積集計例

：マニュアル別紙１７　様式第11－10号の集計仕様

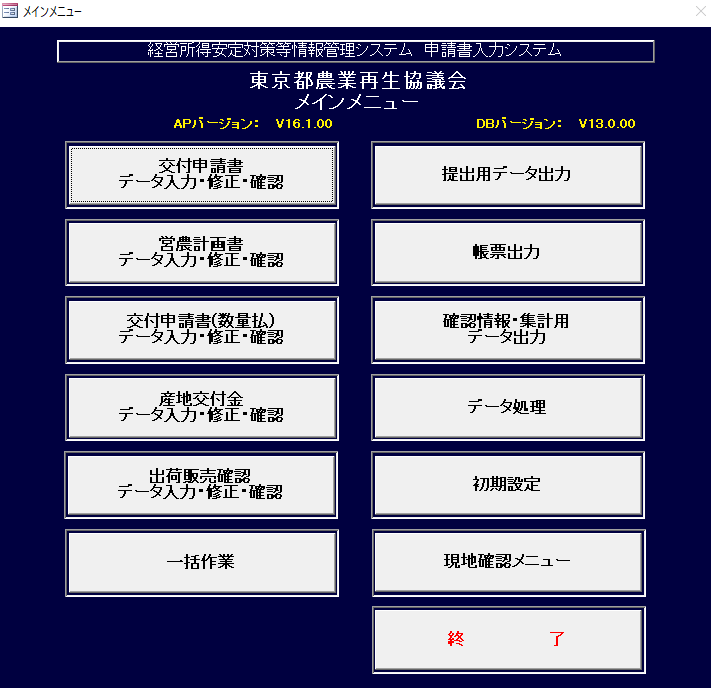
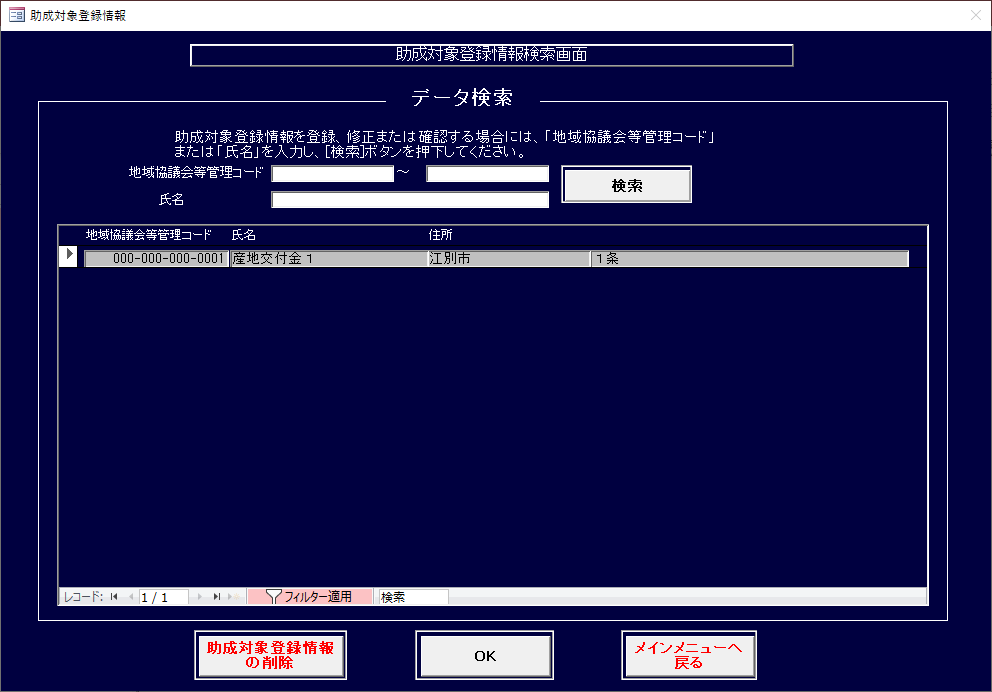
一括作業→入力用データ取込→ INPUT１→ OKボタン→ INPUT２ → OKボタン→ INPUT４ → OKボタン→ INPUT１８ → OKボタン→ INPUT２１ → OKボタン



集計画面へ行くボタン→集計実行ボタン



８．申請書入力システムの画面で確認  
メインメニュー画面→産地交付金データ入力・修正・確認→該当者を選択しOKボタン



1. 助成対象登録情報入力画面  
   支援ツールのJOSEI\_産\_助成対象に登録した内容が表示される。F-15使途整理番号、F-16枝番コードで設定した使途は、この画面の使途名称に名称が表示されている。  
    複数作物ある場合は、画面上部の作物コードで切り替える。

複数作物ある場合、切り替え

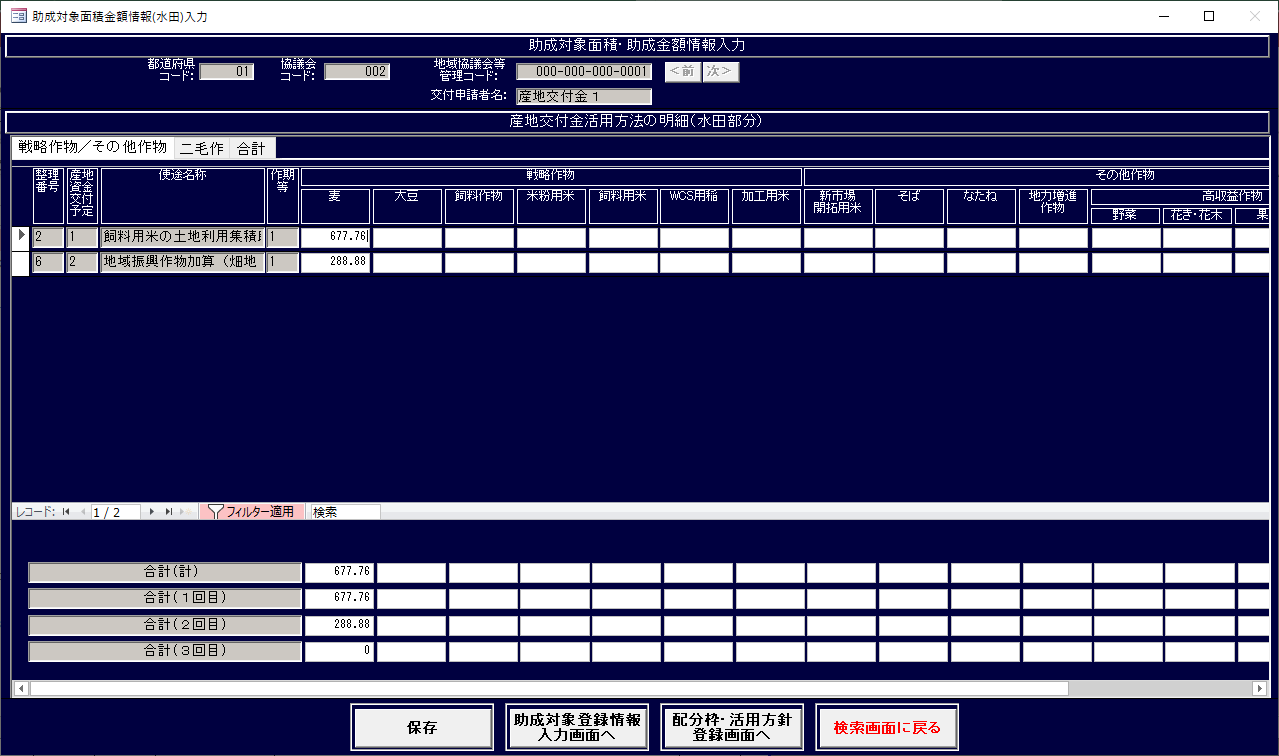


支援ツールのシート：JOSEI\_産\_助成対象

②助成対象登録情報確認画面  
ほ場ごとに、対象となっている使途整理番号に枝番コードが表示される



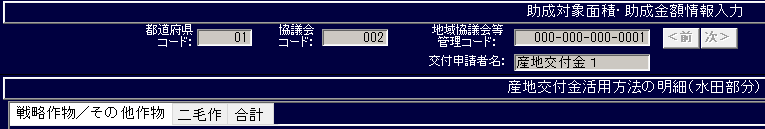
1. 助成対象面積・助成対象金額情報入力画面  
   支援ツールのJOSEI\_産\_助成対象に登録した内容を、使途ごと・作物ごとに集計し、単価をかけたものが表示されている。



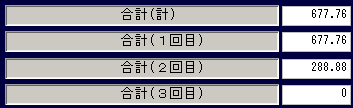
支援ツールのシート：JOSEI\_産\_助成対象



　画面左上の３つのボタンで表示を切り替えて、内容を確認する  
（戦略作物／その他作物、二毛作、合計）。

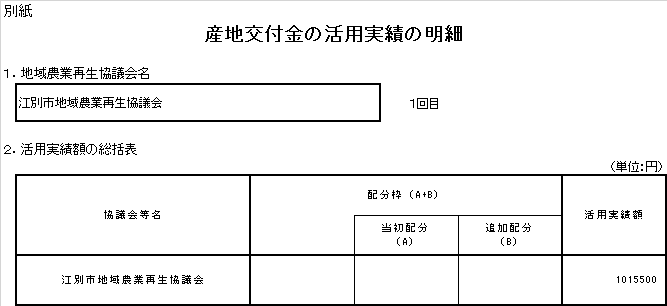


画面下部の合計（計）、合計（１回目）、合計（２回目）、合計（３回目）は、実面積(a)が集計される。

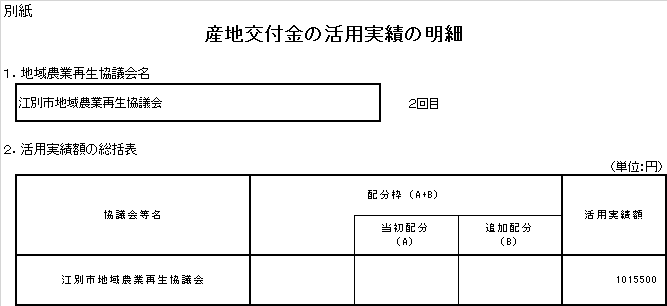


　この画面の内容を地域協議会単位で集計したものが、様式第11－10号別紙となる

１回目を選択して出力した結果



２回目を選択して出力した結果



# 事例２「数量払」

９．支援ツールの入力・ファイル出力

○対象入力シート

①JOSEI\_産\_助成対象

②JOMENKIN\_産\_助成対象面積金額

③HAIKATSU\_産\_配分枠活用方針

※JOMENKINKEI\_産\_助成対象面積金額計

は入力不要

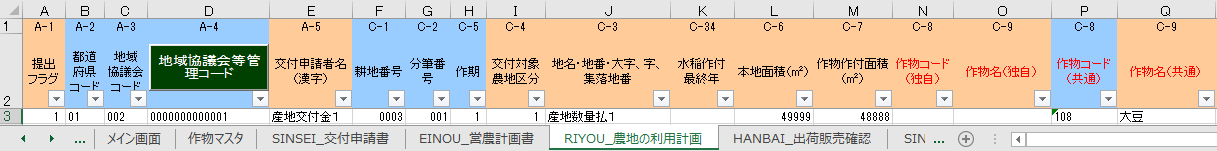
○データ出力シート

①シート「メイン画面」で、INPUT１、２、４、１８、１９、２１ファイルを出力。

参考：マニュアル別紙１８　申請書入力システム支援ツールによる産地交付金登録の手引き

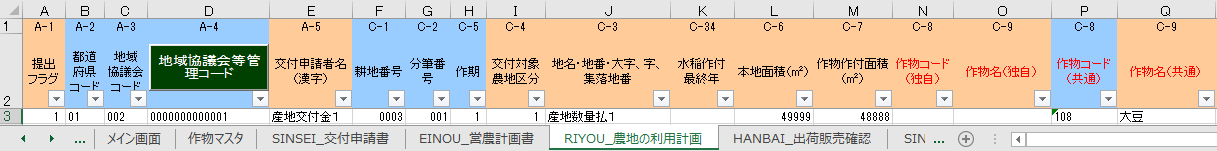
申請書入力システムでは面積×単価の計算のみ対応しています。産地交付金の数量払は、各地域協議会ごとに、内容が異なり、システムによる面積×単価での対応が難しいので、交付金額をシステム外で手計算し、交付金額をシステム入力する運用になります。  
  
○シート：JOSEI\_産\_助成対象  
  
産地交付金の数量払の対象となるほ場データを入力。  
　申請者ごとに、エクセル１行につき、１使途・１枝番コード・１ほ場で入力。１つのほ場が複数の使途の対象となっている場合、そのほ場は複数行、入力する。

F-1～F-9  
　シート：RIYOU\_農地の利用計画に入力した内容と同じ内容を入力  
（F-9が未入力だとエラーになります）。



F-10対象面積  
　産地交付金の対象面積が、F-9作物作付面積と異なる場合は入力。同じ場合は入力不要。　なお、数量払の場合、この面積は、システムでは所要額の計算には利用していません。様式第11－10号の面積集計には利用しています。  
F-11作物コード  
　RIYOU\_農地の利用計画に入力した内容と同じ内容を入力（C-8作物コード（共通）と同じ内容）  
F-12作物名  
　任意入力（未入力も可）。シート：メイン画面の作物名の取込ボタンを押すと、シート：作物マスタの作物名称が取り込まれる。

F-14作物集計区分  
 様式第11－10号別紙の作物欄に対応している。

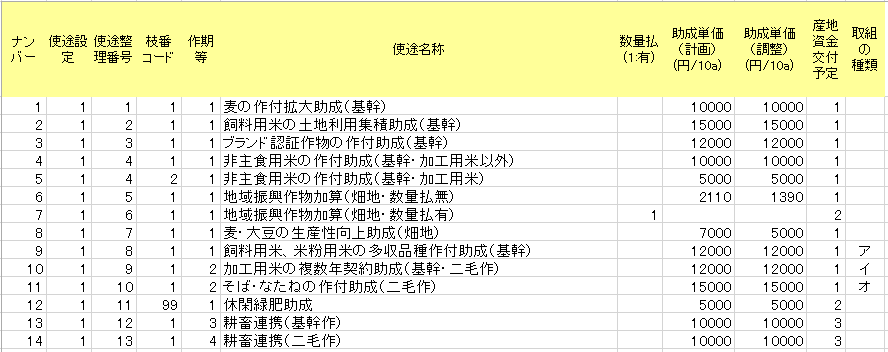


様式第11－10号別紙



F-15使途整理番号  
 使途設定マスタの使途整理番号に対応している。使途設定マスタのG列：数量払(1:　有)に「１」を設定する必要があります。  
  
F-16枝番コード  
 使途設定マスタの枝番コードに対応している。

使途設定マスタ



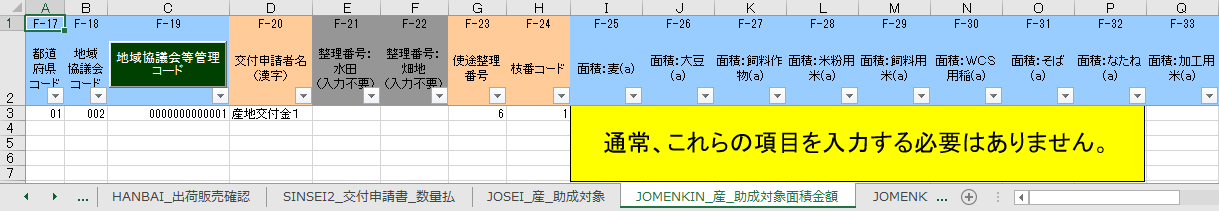
○シート：JOMENKIN\_産\_助成対象面積金額



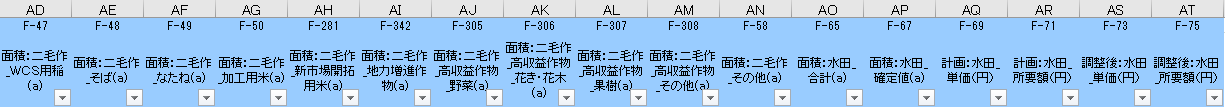
申請者ごとに、エクセル１行につき、１使途１枝番コードで入力。

複数の使途が対象となっている申請者は、複数行を入力

F-17～20は、シート：JOSEI\_産\_助成対象のF-1～F-4と同じ内容を入力  
F-21、22　入力不要  
F-23、24は、シート：JOSEI\_産\_助成対象のF-15、16と同じ内容を入力  
F-25～67、279～342 入力不要



F-69　助成単価（計画）を入力する。この入力内容が、様式第11－10号（別紙１）、（別　紙２）の単価欄に印字されるので、その内容を入力する。例　1円/10ｋｇ  
F-71　該当使途の所要額（計画）を、システム外で計算のうえ、入力する（システムでは数量払の所要額は算出できない）。  
F-73　助成単価（調整後）を入力する。この入力内容が、様式第11－10号（別紙１）、 （別紙２）の単価欄に印字されるので、その内容を入力する。例　1円/10ｋｇ  
F-75　該当使途の所要額（調整後）を、システム外で計算のうえ、入力する（システムでは数量払の所要額は算出できない）。  
※F-69～75について：支援ツールには、黄色の帯で「通常、これらの項目を入力する必要はありません」と説明があるが、産地交付金の数量払の場合は入力する。



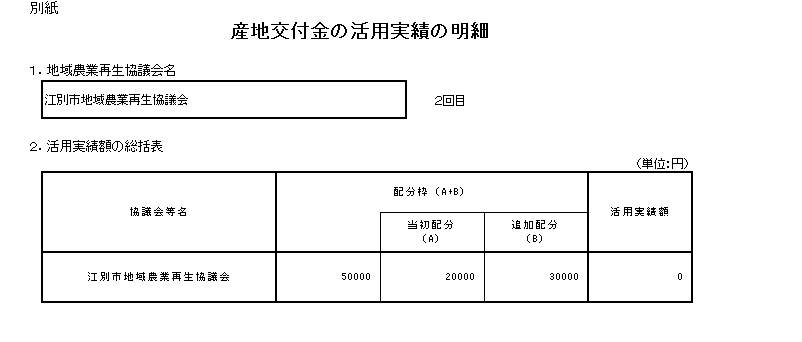
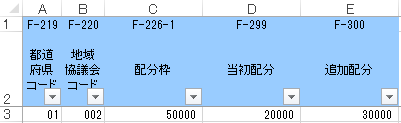
○シート：HAIKATSU\_産\_配分枠活用方針

１地域協議会で１行入力。

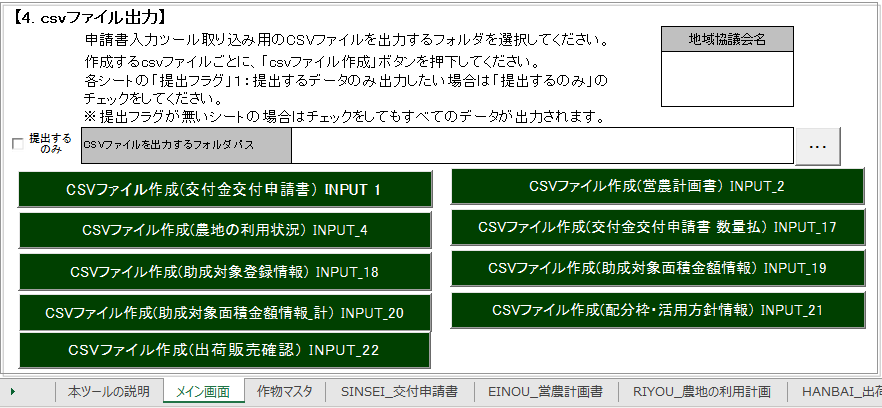
F-219～220　該当のコードを入力。

F-226-1～300　様式第11-10号別紙　２．活用実績額の総括表に印字される内容及び様式第11-10号別紙　３．活用実績の配分枠に印字される内容を入力。

様式第11－10号（別紙　頭紙）



１０．シート「メイン画面」で、  
INPUT１、２、４、１８、１９、２１ファイルを出力。



＜申請書入力システム＞  
データ取込・画面確認・帳票出力・データ出力

１１．申請書入力システムでINPUT１、２、４、１８、１９、２１を取り込み、集計実行

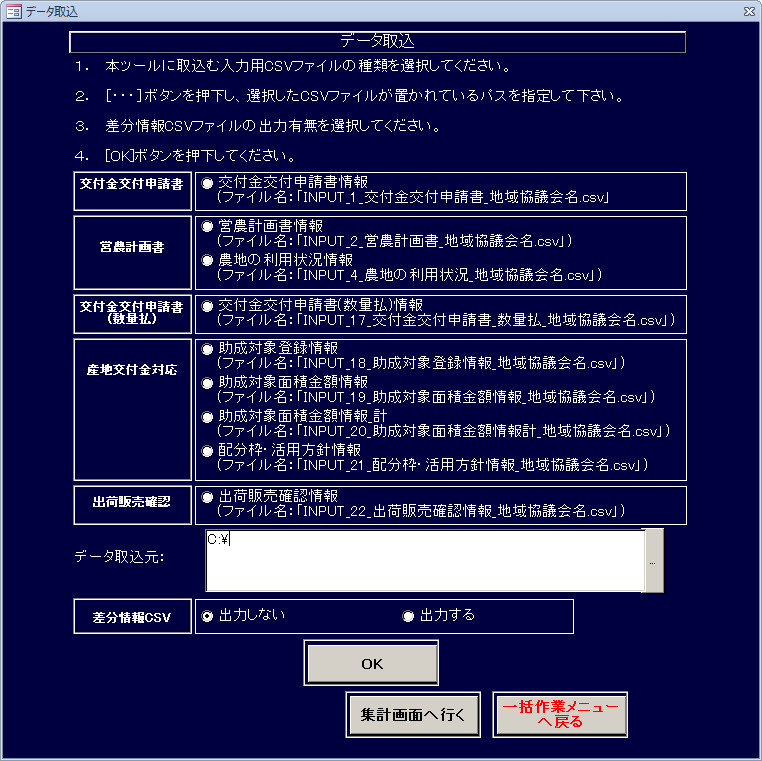
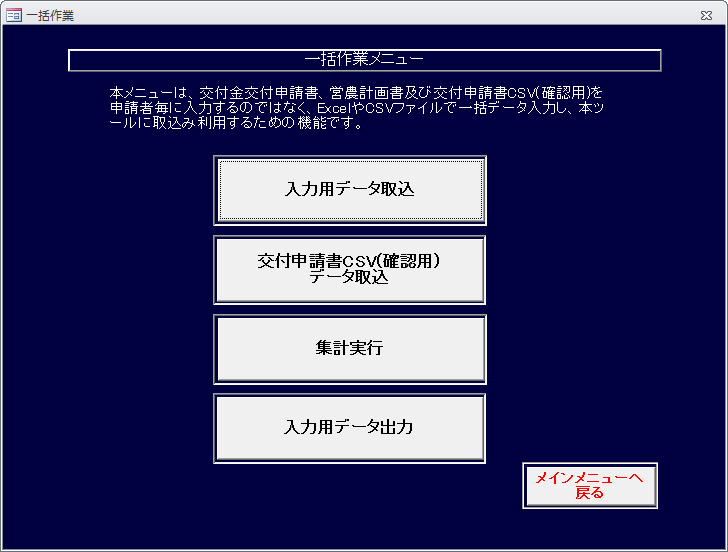
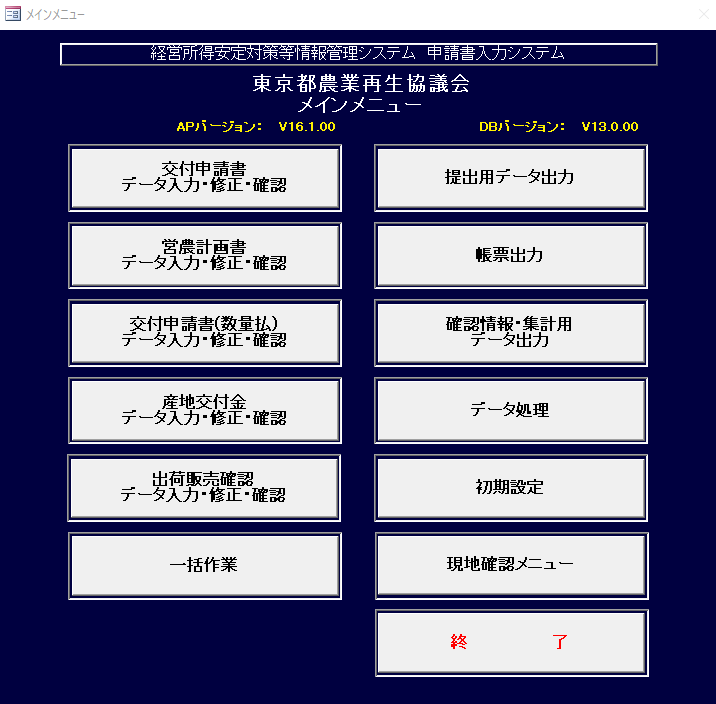
　参考：マニュアル ３．２．５　産地交付金データの入力・修正・検索

　　　：マニュアル別紙１３　別紙13 実面積計算例

　：マニュアル別紙１７　別紙17 様式11－10号の集計仕様

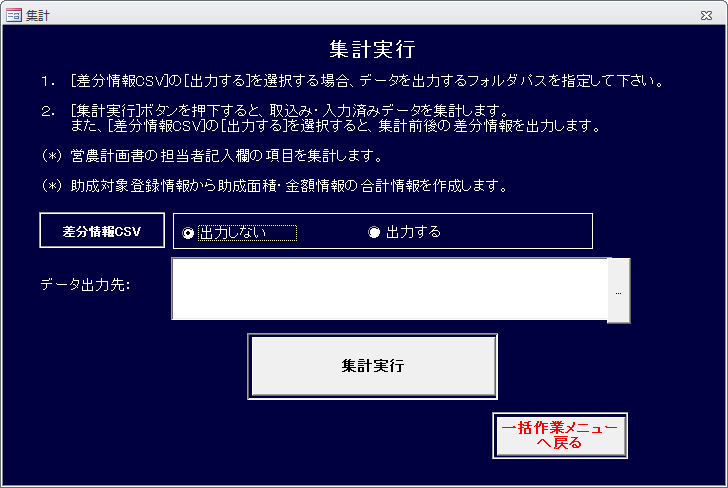
　：マニュアル別紙２４　別紙24 産地交付金換算面積払について

一括作業→入力用データ取込→ INPUT１→ OKボタン→ INPUT２ → OKボタン→ INPUT４ → OKボタン→ INPUT１８ → OKボタン→ INPUT１９ → OKボタン→ INPUT２１ → OKボタン

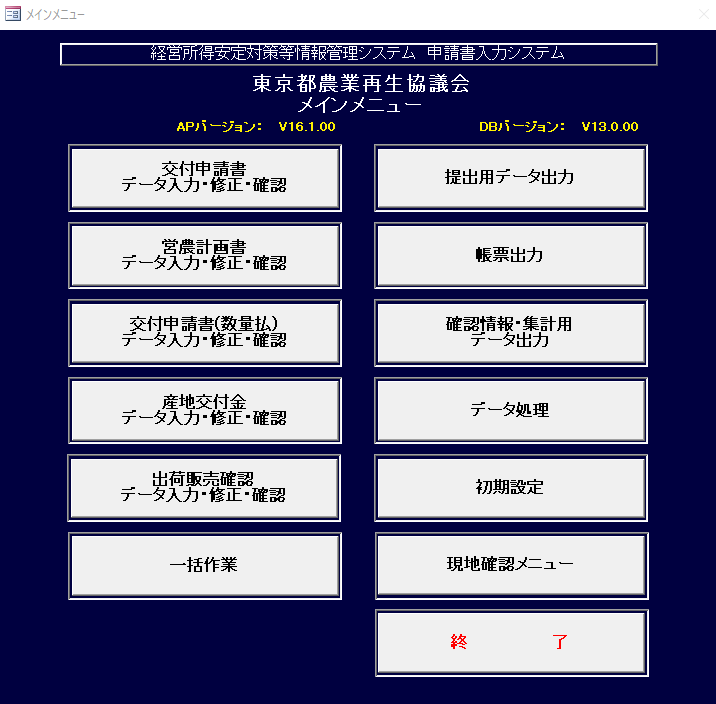
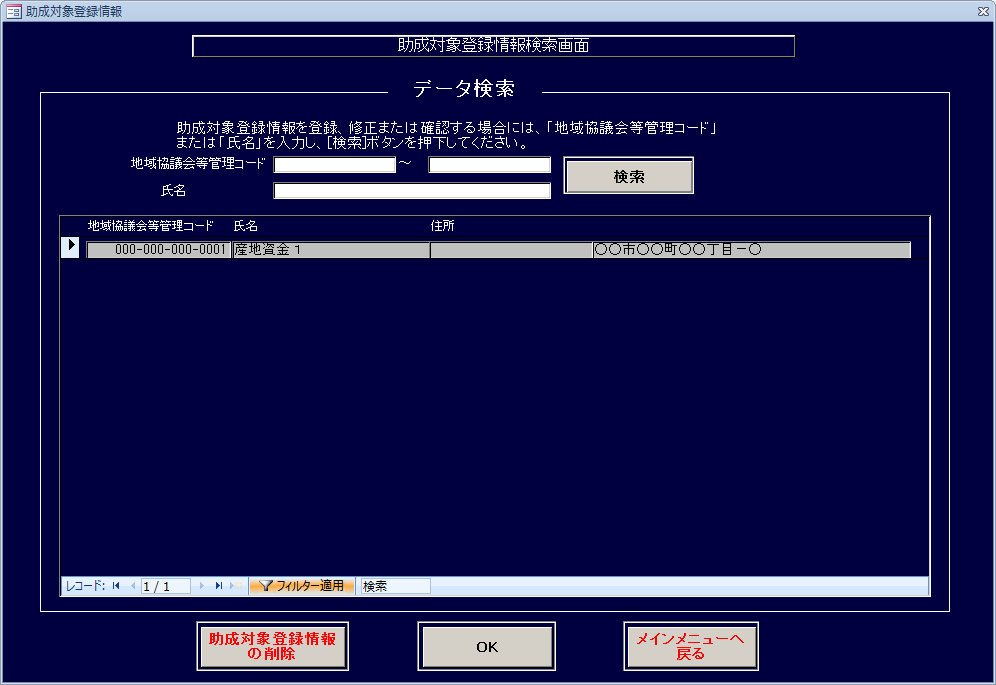


集計画面へ行くボタン→

集計実行ボタン



１２．申請書入力システムの画面で確認  
メインメニュー画面→産地交付金データ入力・修正・確認→該当者を選択しOKボタン



①助成対象登録情報入力画面は、支援ツールのJOSEI\_産\_助成対象に登録した内容が表示される。F-15使途整理番号、F-16枝番コードで設定した使途は、この画面の使途名称に名称が表示されている。

複数作物ある場合、切り替え



支援ツールのシート：JOSEI\_産\_助成対象

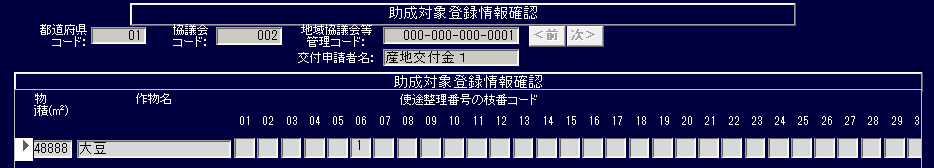
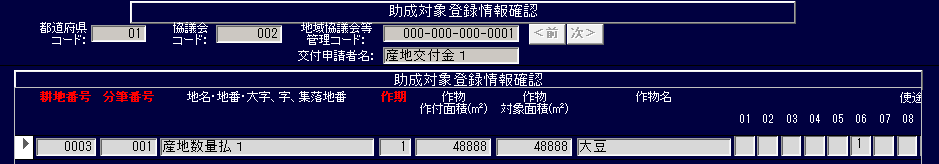


②助成対象登録情報確認画面は、ほ場ごとに、対象となっている使途整理番号に枝番コードが表示される。

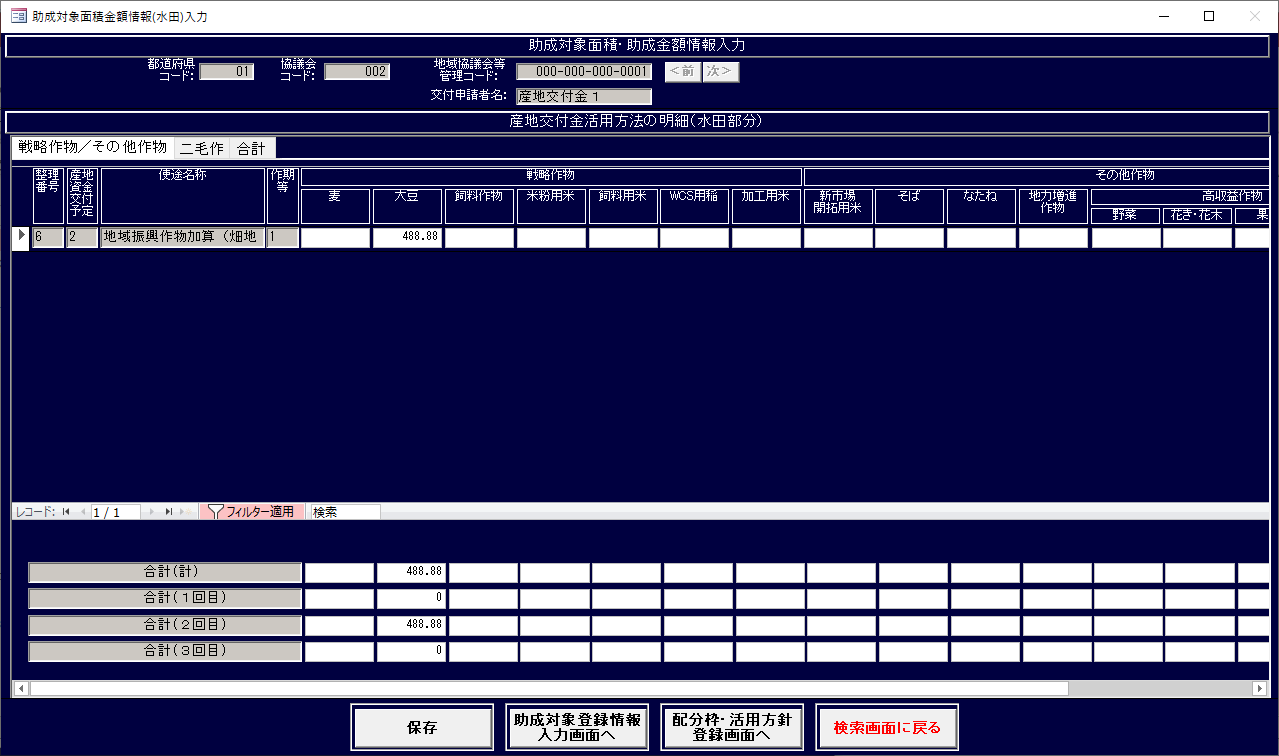


※助成対象登録情報確認画面の画面横スクロール時のレイアウトは以下になります。

（画面上部の項目レイアウトが横スクロールにより変わります。）



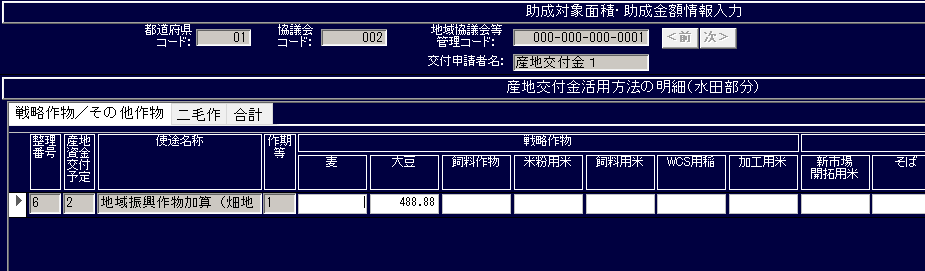
③助成対象面積・助成対象金額情報入力画面は、支援ツールのJOSEI\_産\_助成対象に登録した内容を、使途ごと・作物ごとに集計している。



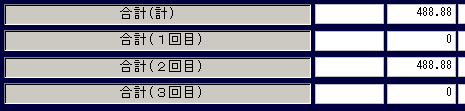
支援ツールのシート：JOSEI\_産\_助成対象



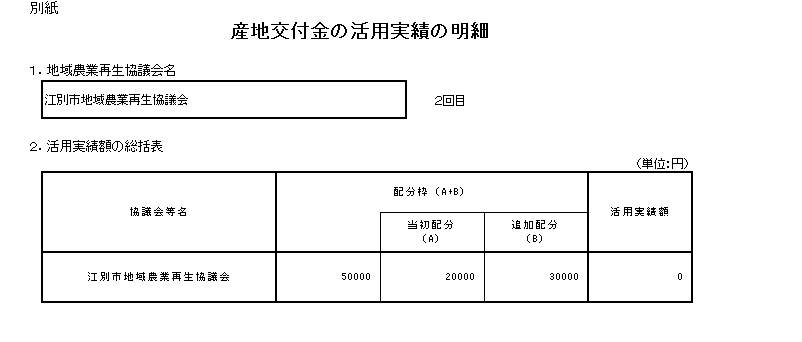
水田の場合画面左上の３つのボタンで表示を切り替えて、内容を確認する  
（戦略作物／その他作物、二毛作、合計）。



　画面下部の合計（計）、合計（１回目）、合計（２回目）、合計（３回目）は、実面積(a)が集計される。単価/10aと所要額円は、シート：JOMENKIN\_産\_助成対象面積金額の入力内容が表示されている（数量払の所要額はシステムでは算出していない）。



　この画面の内容を地域協議会単位で集計したものが、様式第11－10号別紙となる。



# 事例３「加工用米」

加工用米は、全てほ場特定していないもの、と想定してシステムは構築しています。このため、ほ場特定していても、事例１「ほ場特定している場合の手順」では処理できませんので、以下の手順で処理してください。

１３．支援ツールの入力・ファイル出力

○対象入力シート

1. JOSEI\_産\_助成対象
2. JOMENKIN\_産\_助成対象面積金額
3. HAIKATSU\_産\_配分枠活用方針

○データ出力シート

シート「メイン画面」で、INPUT１、２、４、１８、１９、２０、２１ファイルを出力。

参考：マニュアル別紙１８　申請書入力システム支援ツールによる産地交付金登録の手引き

○シート：JOSEI\_産\_助成対象

システム処理上、仮のほ場の登録が必要。申請者ごとに、エクセル１行につき１使途・１枝番コード・１作物で入力。

F-1～４：申請者の情報を入力

F-5耕地番号：９９９８又は９９９９を入力

※この内容は、シートRIYOU\_農地の利用計画に入力不要

F-6分筆番号：１を入力

F-7地名・地番・大字、字、集落番地：入力不要

F-8作期：１又は２を入力

F-9作物作付面積：０を入力

F-10対象面積：入力不要。

F-11作物コード：入力不要。

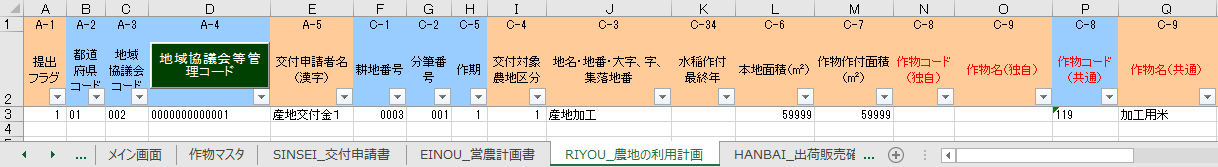
F-12作物名：入力不要

F-14作物集計区分： 様式第11－10号別紙の作物欄に対応している。

加工用米は９を入力

F-15使途整理番号： 使途設定マスタの使途整理番号に対応している。

F-16枝番コード：使途設定マスタの枝番コードに対応している。



○シート：JOMENKIN\_産\_助成対象面積金額

申請者ごとに、エクセル１行につき１使途・１枝番コードで入力。１申請者で複数の使途があれば、複数行の入力になる。

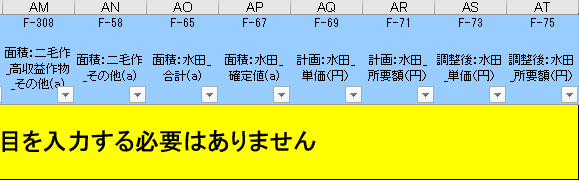
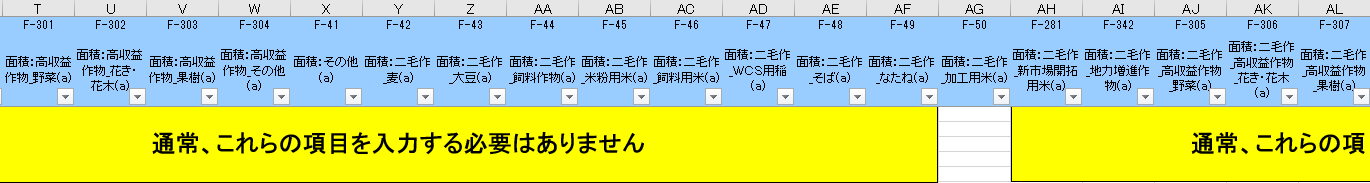
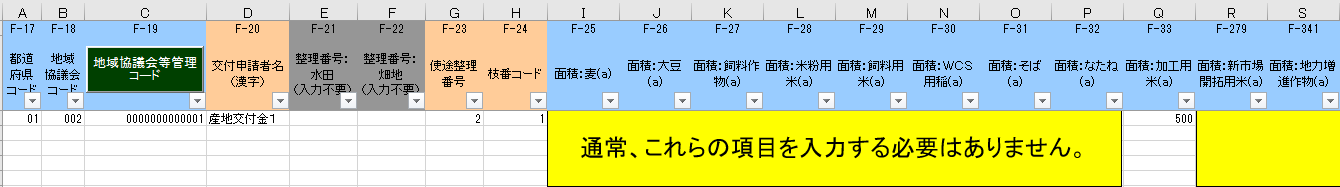
F-17～20はF-1～F-4と同じ内容を入力

F-21、22　入力不要

F-23、24はF-15、16と同じ内容を入力

F-33、50は助成対象面積・助成対象金額情報入力画面に表示される内容。使途ごとに、産地交付金の加工用米の交付対象面積を入力する。基幹と二毛作を区別して入力。

F-65～76は、入力不要



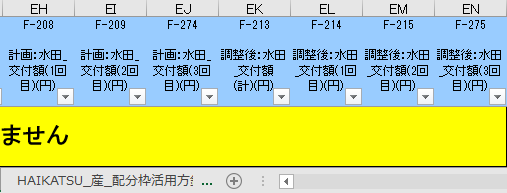
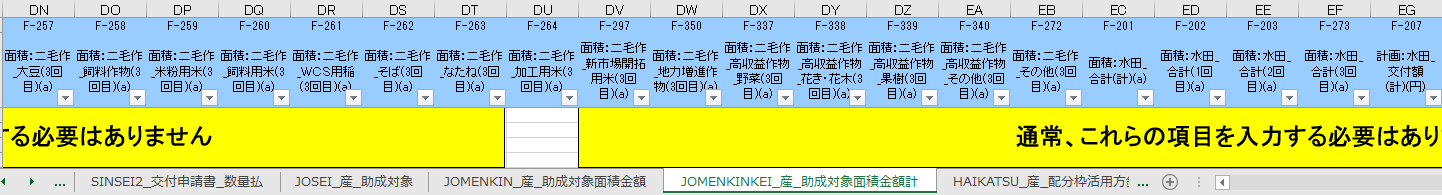
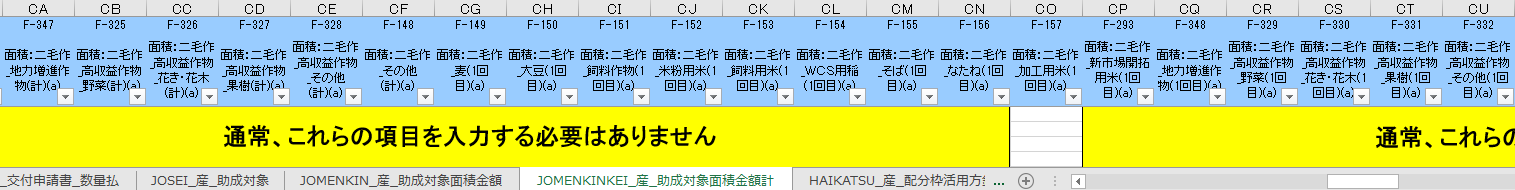
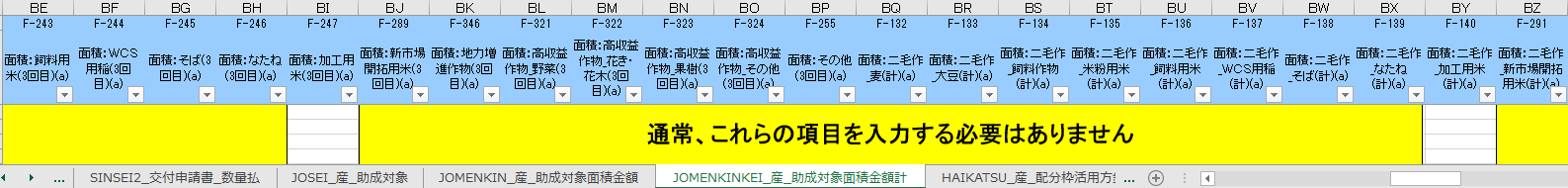
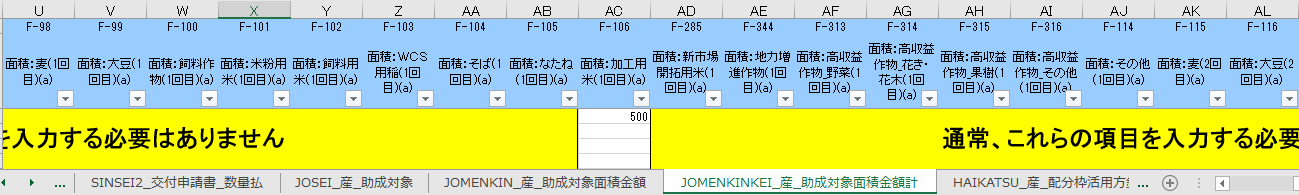
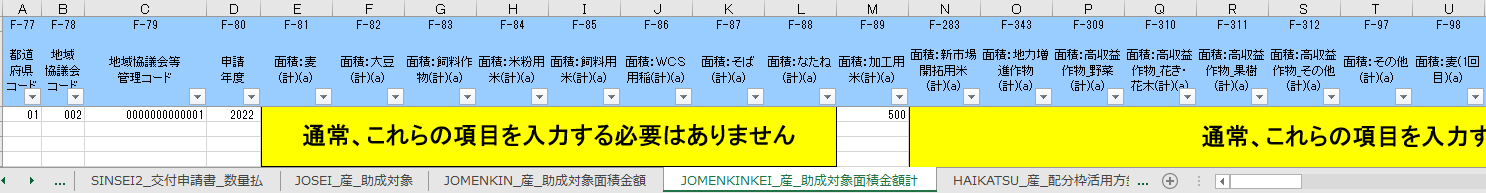
○シート：JOMENKINKEI\_産\_助成対象面積金額計

　１行１申請者で入力。

　助成対象面積・助成対象金額情報入力画面の画面下部（合計（計、１回目、２回目、３回目））に表示される内容。

F-77～80は申請者の内容を入力。

F-89, 106, 123, 247,140, 157, 174, 264は加工用米の使途ごとの面積を入力。



１４．シート「メイン画面」で、INPUT１、２、４、１８、１９、２０、２１ファイルを出力

＜申請書入力システム＞  
データ取込・画面確認・帳票出力・データ出力

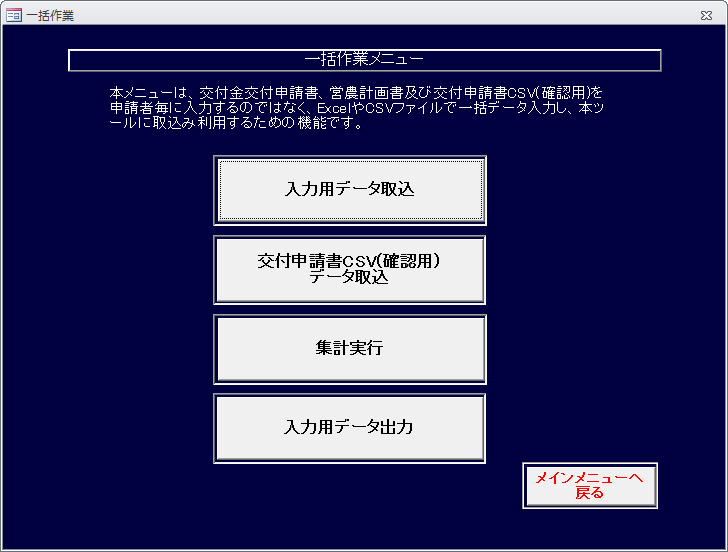
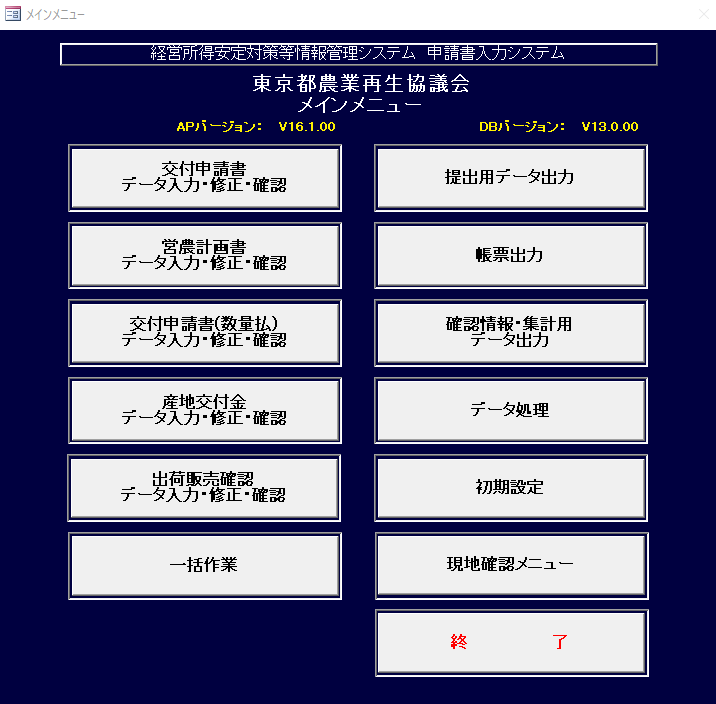
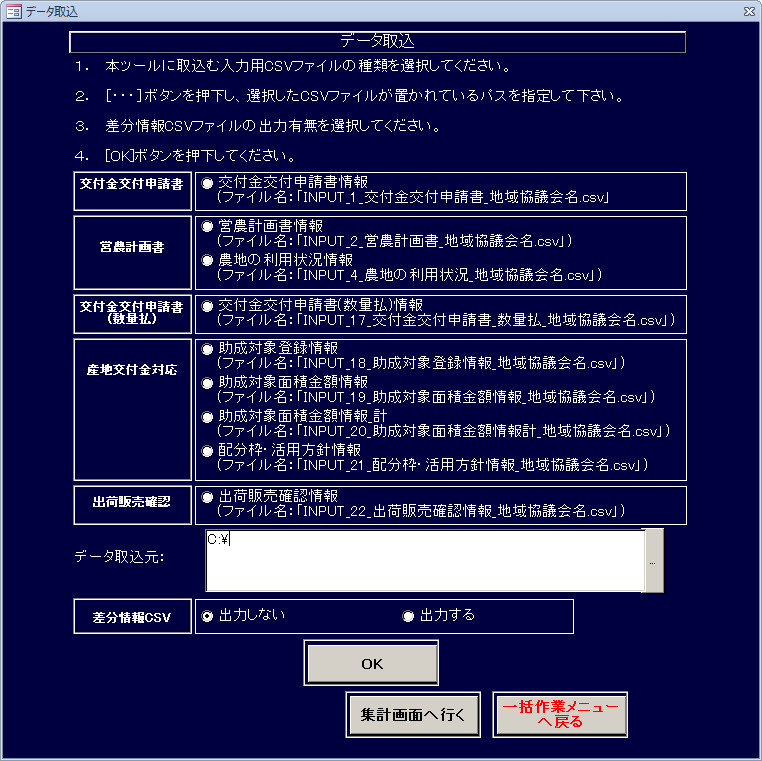
申請書入力システムでINPUT１、２、４、１８、１９、２０、２１を取り込み、集計実行

参考：マニュアル ３．２．５　産地交付金データの入力・修正・検索

　　　：マニュアル別紙１３　産地交付金の実面積集計例

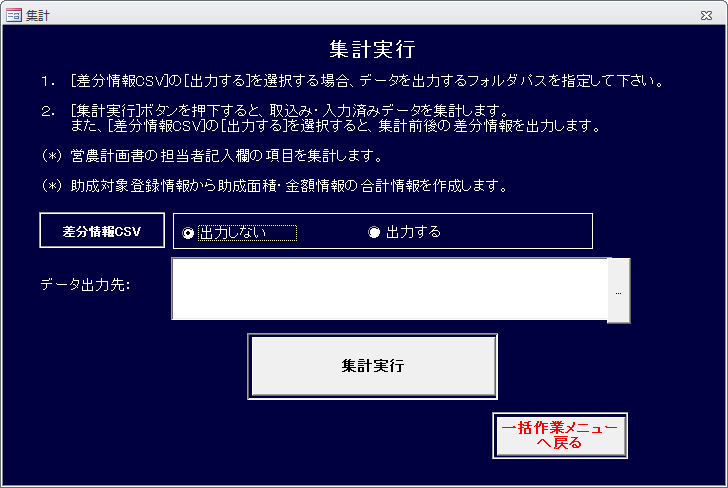
：マニュアル別紙１７　様式第11－10号の集計仕様

　一括作業→入力用データ取込→ INPUT１→ OKボタン→ INPUT２ → OKボタン→ INPUT４ → OKボタン→ INPUT１８ → OKボタン→ INPUT１９ → OKボタン→ INPUT２０ → INPUT２１ →OKボタン

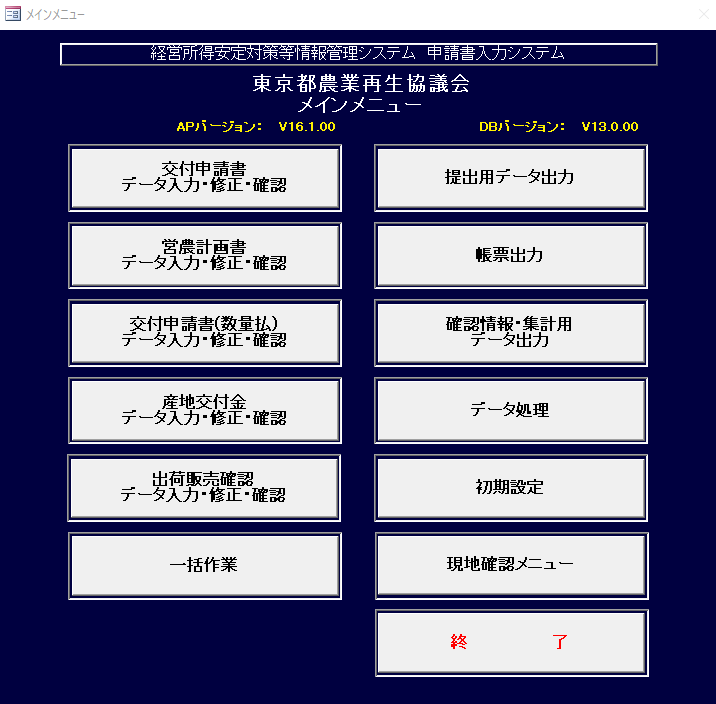


集計画面へ行くボタン→

集計実行ボタン１５．申請書入力システムの画面で確認



メインメニュー画面→産地交付金データ入力・修正・確認→該当者を選択しOKボタン



1. 助成対象登録情報入力画面では、作物コードに空白を選択すると、ほ場特定していない加工用米の情報が表示される（耕地番号：９９９８又は９９９９）。

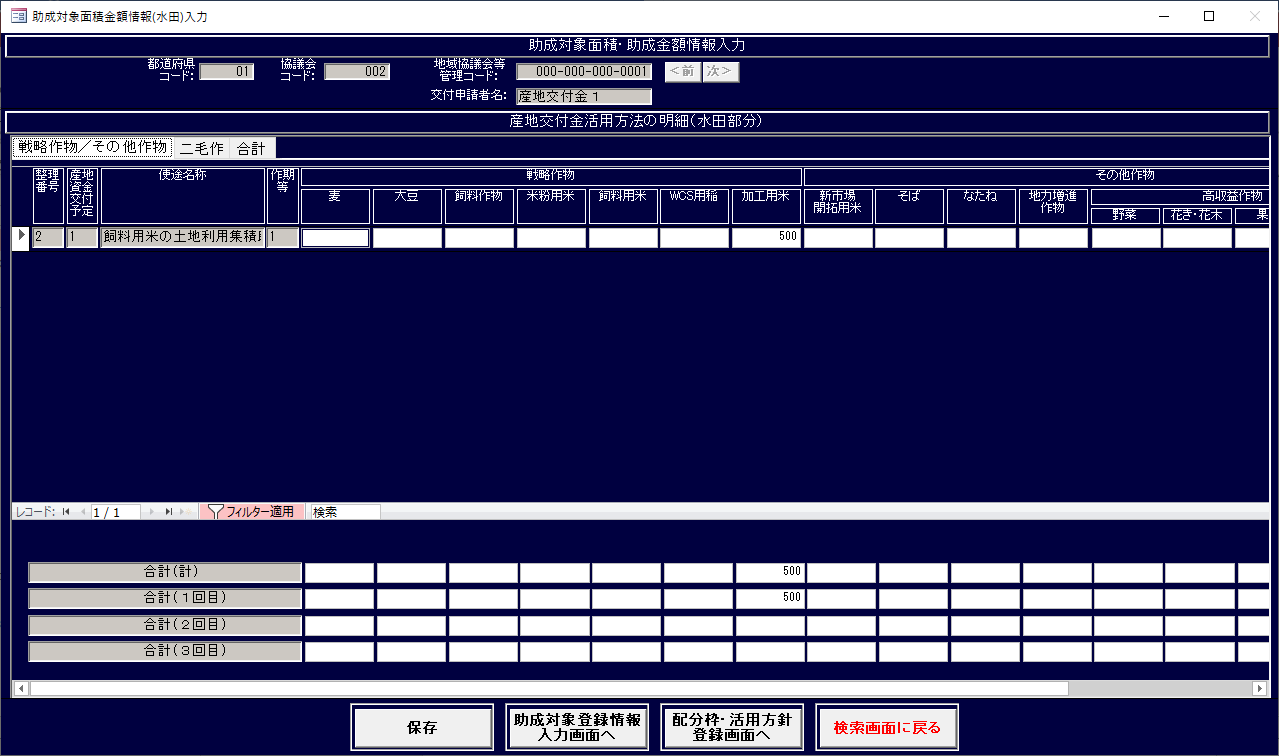
　支援ツールのJOSEI\_産\_助成対象で、F-15使途整理番号、F-16枝番コードに設定した使途は、この画面の使途名称に名称が表示されている。



②助成対象登録情報確認画面は、ほ場ごとに、対象となっている使途整理番号に枝番コードが表示される。



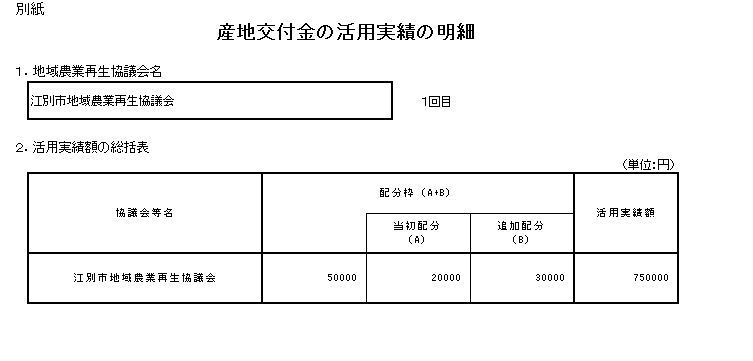
③助成対象面積・助成対象金額情報入力画面は、支援ツールのシート：JOMENKIN\_産\_助成対象面積金額とシート：JOMENKINKEI\_産\_助成対象面積金額計に登録した内容を、使途ごと・作物ごとに表示している（事例３「加工用米」では、事例１「ほ場特定している場合」と異なり、支援ツールのJOSEI\_産\_助成対象に登録した内容を、使途ごと・作物ごとに集計していない）。



画面左上の３つのボタンで表示を切り替えて、内容を確認する（戦略作物／その他作物、二毛作、合計）。

　　画面下部の合計（計）、合計（１回目）、合計（２回目）、合計（３回目）は、実面積(a)が表示される。

この画面の内容を地域協議会単位で集計したものが、様式第11－10号別紙となる。



# 事例４「ほ場特定していない米粉用米と飼料用米と新市場開拓用米」

　米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米は、システム上、ほ場特定していないと処理ができませんので、ほ場特定していない場合の処理事例を、以下に記載します（なお、ほ場特定している米粉用米と飼料用米と新市場開拓用米は、前述の事例１「ほ場特定している場合の手順」で処理）。

　方法：主食用水稲のほ場を利用して処理

①　作物マスタで、主食用水稲のコードに、米粉用米、飼料用米又は新市場開拓用米が対象となる産地資金\_使途整理番号○にフラグ１を入れる。→申請書入力システムで初期設定。



②　シート　JOSEI\_産\_助成対象　主食用水稲のほ場を入力。このほ場に対して、米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米の産地交付金の入力をする。

F-1～F-9

　シート：RIYOU\_農地の利用計画に入力した内容と同じ内容を入力。

F-10対象面積

　産地交付金の対象面積が、F-9作物作付面積と異なる場合は入力。同じ場合は入力不要。

F-11作物コード

　シート：RIYOU\_農地の利用計画に入力した内容と同じ内容を入力（C-8作物コード（共通）と同じ内容）

F-12作物名

　任意入力（未入力も可）。シート：メイン画面の「作物名の取込」ボタンを押すと、シート：作物マスタの作物名称が取り込まれる。

F-14作物集計区分

様式第11－10号別紙の作物欄に対応している。

　　４：米粉用米

　　５：飼料用米

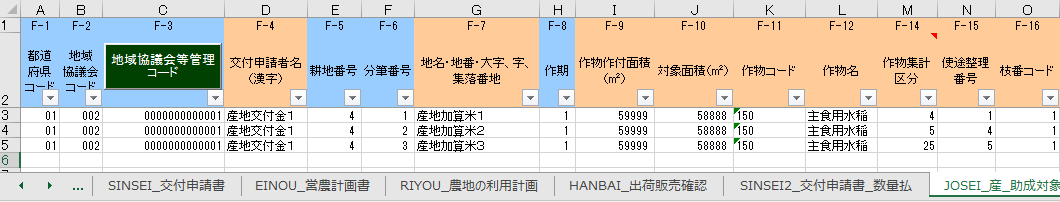
２５：新市場開拓用米

F-15使途整理番号

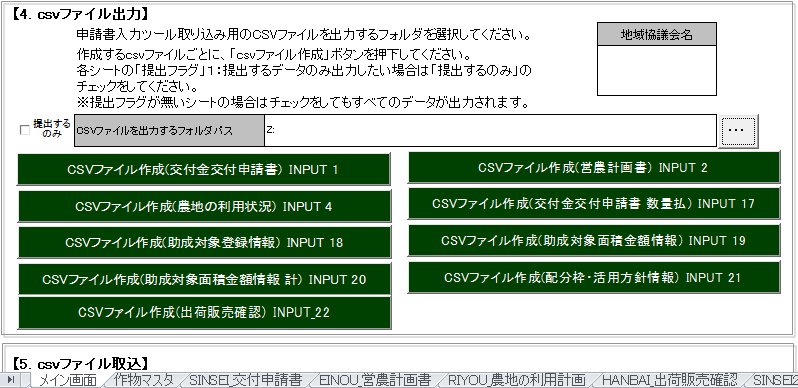
使途設定マスタの使途整理番号に対応している。

F-16枝番コード

使途設定マスタの枝番コードに対応している。



③　INPUT１、２、４、１８を申請書入力システムに取り込んで、集計実行

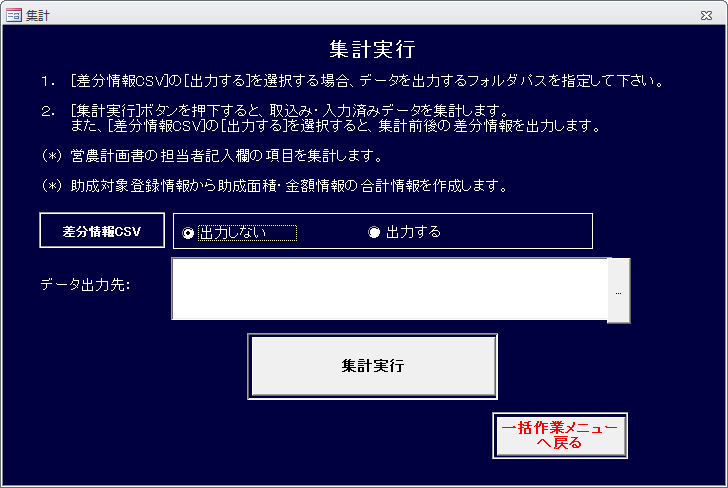


＜申請書入力システム＞

支援ツールのデータを取込



集計実行画面



米粉用米、飼料用米、新市場開拓用米が登録される

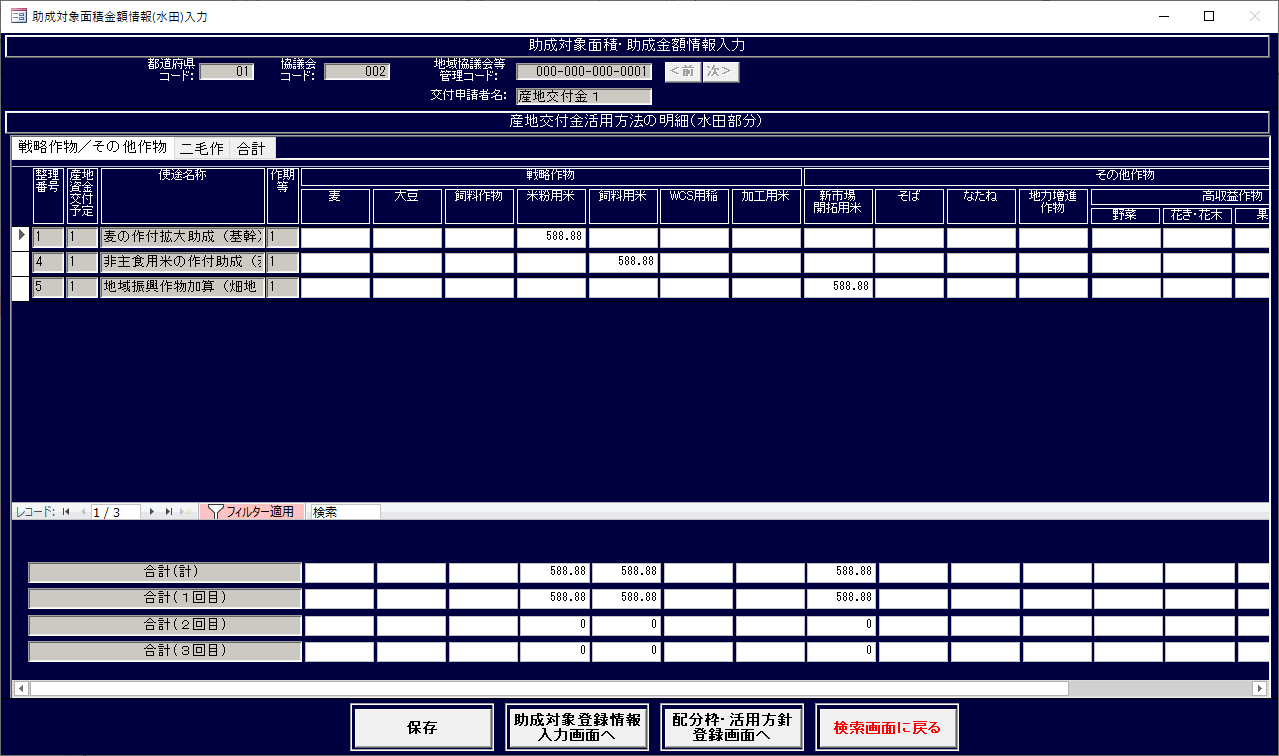
助成対象登録情報確認画面



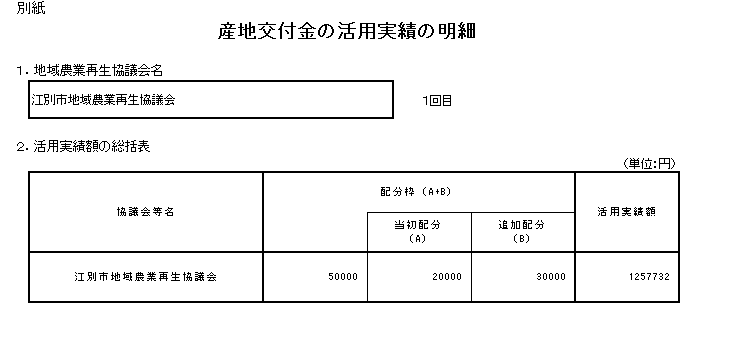
助成対象登録情報入力画面



助成対象面積・助成金額情報入力画面



様式第11－10号別紙



以上